

安全の確保や環境の保全のために・・・

家族とのドライブや恋人とのデート、地方にあっては通勤や日頃の買い物など、クルマは楽しく便利で日常生活になくてはならないアイテムであり、日本の自動車保有台数は約8,170万台以上（平成29年8月末現在）となりました。

クルマ社会の成長とともに、クルマと経済や生活との結びつきはより一層強くなっており、同時に環境負荷の少ない電気自動車や燃料電池自動車、自動車の自動運転などの新技術の開発も盛んになっております。

また、技術者のたゆまぬ努力により、クルマは故障しにくく寿命も長くなりました。

しかし、故障しにくくなったが故に点検整備を疎かにする自動車ユーザーも少なくありません。

クルマにはタイヤやブレーキパッドはもちろん、エンジン内部にいたるまで非常に多くの消耗品が使われており、また、ゴム部品などクルマに乗らなくても劣化する部品も多く使われています。また、優秀になったとはいえ、クルマは工業製品である以上、故障を避けることはできません。



クルマは楽しく便利である反面、ひとたび事故が起これば凶器にもなる危険なエネルギーを持っています。

この凶器にもなるクルマを、ユーザーが安全に安心して使用できるよう、またクルマの使用によって生じる公害を防止するため四国運輸局では様々な仕事を行っています。

国土交通省・四国運輸局の技術系の組織（自動車）

国土交通省 自動車局

- 安全政策課……………自動車運送事業の安全確保など
- 技術・環境政策課……………自動車の環境対策、次世代自動車の普及促進など
- 車両基準・国際課……………技術上の基準、国際協力に関すること
- 審査・リコール課……………自動車の型式指定、リコール制度や不具合情報の収集など
- 整備課……………自動車整備事業者の監督や自動車整備士の技能検定、自動車の点検整備の推進など
- 自動車情報課……………自動車の登録制度など



四国運輸局

自動車技術安全部

- 管理業務調整官……………自動車登録手続きの管理、調整
- 整備・保安課……………自動車整備事業の許認可、自動車の不正改造の排除・点検整備の推進
- 技術課……………リコール制度、街頭検査の企画、自動車の基準緩和の認定
- 保安・環境調整官……………自動車運送事業の安全対策、自動車の環境対策

自動車交通部

- 自動車監査官……………自動車運送事業者の指導・監督



運輸支局（徳島・香川・愛媛・高知）

検査整備保安部門

四国運輸局 自動車技術安全部に関する業務を実施

輸送・監査部門

四国運輸局 自動車交通部に関する業務を実施

独立行政法人自動車技術総合機構（本部 東京都新宿区）

香川運輸支局内に四国検査部を、徳島、愛媛及び高知の各運輸支局内に事務所を設置し、自動車検査の審査業務を実施

運輸局の仕事

…自動車の場合

運輸局で自動車技術系職員が勤める自動車系の組織は、

自動車技術安全部

- 整備・保安課
- 技術課
- 保安・環境調整官

自動車交通部

- 自動車監査官

があります。

自動車技術安全部

整備・保安課の主な仕事

～自動車の点検整備事業を通じて、安全の確保や環境の保全に努めています～

自動車整備事業の許認可

自動車を分解する整備事業を営むための「認証」や、認証を受けた者に国土交通省が行う車検の一部を代行させる「指定」の審査や監督業務（監査）などを行っています。

自動車の不正改造の排除・点検整備の推進

騒音等の環境悪化や道路交通の秩序を乱す要因となる違法マフラーの使用など不正改造を行う使用者もあり、これら不正改造排除するため「不正改造車を排除する運動」を実施し、出前講座などを通じて自動車の適切な使用の啓発活動を行っています。

また、自動車は使用期間や走行距離に応じて劣化するものであり、適切に点検や整備を行うことで本来の安全性能や環境性能を維持できます。

このため、四国運輸局では点検整備推進運動の実

施や、関係団体と協力しマイカー無料点検などを通じて、自動車のユーザーに対して適切な点検や整備を行っていただくよう、啓発活動を行っています。



マイカー無料点検

技術課の主な仕事

～自動車の構造や安全基準を通じて、安全の確保や環境の保全に努めています～

自動車のリコール制度

リコールとは設計や製造過程による自動車の問題があったために自動車メーカーが国土交通大臣に事前届出を行ったうえで回収や修理を行い、事故やトラブルを未然に防止する制度です。

四国運輸局ではリコール制度に関して、不具合情報の収集はもちろん、自動車メーカーから販売店への不適切な作業指示（リコール隠しやヤミ改修）の有無や、不具合情報を販売店から自動車メーカーへ適切に報告しているかなどの調査も行っています。

街頭検査の企画

四国運輸局では不正改造車の排除や、軽油を燃料とする自動車から排出される窒素酸化物（NOx）や浮遊粒子状物質（PM）などの有害物質を増加させ、大気に悪影響を与える不正軽油の撲滅のため街頭検査を行っています。

基準緩和自動車の認定

自動車にはさまざまな安全基準がありますが、災害応急対策や災害復旧で使用する自動車、新幹線などの鉄道車両や橋梁など分割できない物品を輸送する自動車など、安全基準をクリアできない自動車については運行の安全性を確保するための制限や条件を付して、安全基準を緩和する認定を行っています。



硫黄分濃度測定器を使って燃料の硫黄分を測定

運輸局の仕事

…自動車の場合

運輸局で自動車技術系職員が勤める自動車系の組織は、

自動車技術安全部

- 整備・保安課
- 技術課
- 保安・環境調整官

自動車交通部

- 自動車監査官

があります。

自動車技術安全部

保安・環境調整官の主な仕事

～自動車運送事業者の運行管理や超小型モビリティ導入促進などを通じて、
安全の確保や環境の保全に努めています～

自動車運送事業の安全対策

自動車運送事業者（緑ナンバーのトラック、バスおよびタクシー）の運転者の点呼や健康状態を把握する運行管理者や、自動車の車両管理を行う整備管理者に対する講習などを企画し、事業用自動車の事故防止に努めています。

また、事業用自動車の交通事故について、運転者面、車両面、走行環境面、運行管理面などの要素から事故発生の要因を分析し、事故の再発防止策の立案を行う「自動車運送事業に係る要因分析事業」も行っています。

自動車の環境対策

超小型モビリティとは、自動車よりコンパクトで小回りが利き、環境性能に優れ、地域の手軽な移動の足となる1人から2人乗り程度の自動車です。

四国運輸局では低炭素社会に向けた取り組みとして、環境性能に優れた「超小型モビリティ」の普及を促進しています。



自動車交通部

自動車監査官の主な仕事

～自動車運送事業者に対する指導・監督を通じて、安全の確保に努めています～

平成17年にJR西日本の福知山線列車脱線事故を始め、鉄道のみならず航空や海運、自動車の各輸送モードでヒューマンエラーや企業風土が原因とされる事故が多発しました。

このことから、サービスや商品の生産過程などの管理体制の規格であるISO9000シリーズを参考にした、「運輸安全マネジメント評価」を自動車運送事業者に対して実施し、輸送の安全確保を図っています。

また、自動車運送事業者の法令順守状況を確認する保安監査も輸送安全マネジメント評価に加えて実施し、より一層の輸送の安全性の向上を目指しています。



運輸安全マネジメント評価の実施

運輸支局の仕事

自動車技術系職員は運輸支局の検査整備保安部門では、自動車技術安全部の各課の業務の補完に加えて、次の仕事などを行っています。

- 自動車の安全や環境の保全に関する安全基準への適合性審査（車検）に関する仕事
- 自動車整備事業者に対する指導・監督
- 街頭検査の実施
- 自動車運送事業者に対する指導・監督

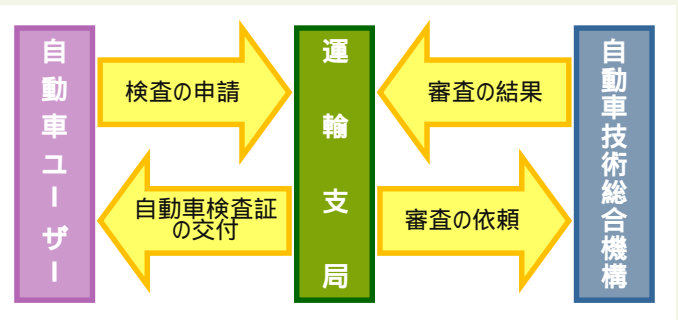
また、輸送・監査部門では自動車交通部 自動車監査官と同様に自動車運送事業者の指導・監督を行っています。

検査整備保安部門の主な仕事

安全基準への適合性審査（車検）に関する仕事

車検には、ナンバープレートが付けられていない自動車を使用するときの「新規検査」、自動車の構造に変更があったときの「構造等変更検査」、引き続き自動車を使用するときの「継続検査」などがあります。

運輸支局では、これらの車検の申請受付や自動車検査証の交付業務などを行っています。



車検の申請受付



自動車検査証の交付

自動車整備事業者に対する指導・監督

自動車整備事業の健全な発達や適切な運営は、自動車の整備技術の向上につながり、安全の確保や環境の保全に大きく貢献します。

運輸支局では、自動車検査員や整備主任者への研修、整備事業者への定期的な監査などの指導・監督を行っています。



街頭検査の実施

運輸支局でも、不正改造車の排除や、タイヤの摩耗状況やランプ類の球切れ、ガソリン車の排出ガス濃度やディーゼル車の黒煙濃度の測定を行い、安全の確保や環境の保全を目的とした街頭検査を定期的実施し、安全基準に適合していない自動車には整備命令を交付しています。



自動車運送事業者に対する指導・監督

運輸支局の検査整備保安部門においても、輸送・監査部門と合同で自動車運送事業者の指導・監督を行っており、運輸安全マネジメント評価や保安監査を通して、さらなる輸送の安全性向上に努めています。

自動車技術総合機構の仕事

自動車技術系職員は自動車技術総合機構四国検査部で、個々の自動車の安全性や公害をもたらさないような状態にあるかなどの審査を実施しております。

また、東京にある交通安全環境研究所 自動車認証審査部では、新型自動車などが販売される前に安全や環境基準への適合性に関する技術上の審査を実施しており、またリコール技術検証部では自動車の不具合の原因が設計または製作過程にあるかなどの技術的な検証を実施しております。

車検はもともとは国土交通省が行っていましたが、車検のうち安全基準（保安基準）に適合するかどうかの審査は、新たに設置された独立行政法人自動車技術総合機構（旧名称：自動車検査独立行政法人）で行っています。

平成25年度からは、自動車技術総合機構が独自で職員を採用しておりますが、職員のほとんどは運輸局からの出向となっております。

四国検査部検査課と事務所の主な仕事

自動車の安全基準は昭和26年に制定され、今日まで安全性の向上や技術の進歩により幾度となく改正され、車種や自動車の製作された日により適用される安全基準が異なります。

自動車検査場では、その車種、製作された日などの情報から適用される安全基準に適合しているかどうかを的確に判断しなければならず、高度な知識や判断力が求められますが、自動車検査場は自動車の安全における最前線であり、その分とてもやりがいがある仕事です。



自動車の外観（同一性）の検査



自動車の諸元（寸法や重量）の計測

交通安全環境研究所 自動車認証審査部の主な仕事

自動車型式指定制度に基づき、自動車等の基準適合性について、公正・中立な立場で認証審査を行う日本で唯一の機関です。自動車認証審査の確実な実施を通じ、基準不適合車の生産・流通を未然に防止し、自動車に係る国民の安全・安心の確保および環境の保全に貢献しています。



販売前の自動車の審査（側面衝突試験）

交通安全環境研究所 リコール技術検証部の主な仕事

リコール技術検証部では、自動車ユーザーの一層の安全と安心につなげるため、自動車の不具合の原因が設計または製作過程にあるかの技術的な検証を通じ、リコールの迅速かつ確実な実施に貢献しています。

国土交通省・四国運輸局の技術系の組織（鉄道）

国土交通省 鉄道局

- 技術企画課……………鉄道技術関係事務の取りまとめ、鉄道の技術基準など
- 施設課……………駅、線路等の鉄道施設に関する計画及び安全の確保など
- 安全監理官……………鉄道等の運行計画、運転事故防止等安全対策など



四国運輸局

鉄道部

- 次長……………部の統合調整
- 計画課……………鉄道事業等の許認可、運賃・料金、補助助成、在来線の改良等調査
- 技術・防災課……………鉄軌道等の施設、車両、電気・信号施設の安全確保及び環境対策
- 鉄道安全監査官……………鉄道車両・施設の管理・保守、運転状況に関する検査
- 安全指導推進官……………鉄道事故等の調査分析、再発防止対策、動力車操縦者運転免許試験



運輸局の仕事

… 鉄道の場合

運輸局で自動車技術系職員が勤める組織は、自動車技術安全部や自動車交通部のほかに鉄道部があります。

四国の鉄道各社の経営は、人口減少、高速バス利用の増加などにより、たいへん厳しい状況になっていますが、四国運輸局鉄道部では、地域鉄道の活性化に取り組もうとする鉄道事業者や地方自治体関係者に対し、国の各種補助・支援制度などの幅広い情報提供や助言を行っています。

鉄道貨物輸送におけるCO2排出量はトラックの約7分の1であり、四国からも本州方面にコンテナ輸送が行われています。そのため、鉄道貨物輸送が「環境にやさしい輸送手段」として注目を集めています。また、東日本大震災での一連の緊急輸送のなかで、石油救援列車を運行するなど被災地支援に貢献しました。



四国管内では、普通鉄道、鋼索鉄道（ケーブルカー）及び軌道（路面電車）の事業者計8社が、営業キロ1,324 kmにわたり鉄道輸送を行っており、四国における公共交通機関の中心的な役割を担っています。ロープウェイやスキー場のリフトなども鉄道事業法が適用されます。

鉄道部では、鉄道事業法や軌道法など関係法令の許認可業務のほか、鉄道輸送の安全を確保し、利用者の利益を保護するため、これら鉄道事業者に対する指導・監督を行っています。

技術系職員は、電車などを運転する際に必要となる動力車操縦者運転免許の試験、ATS（自動列車停止装置）、CTC（列車集中制御装置）等の鉄道施設や車両の許認可、輸送の安全を確保するための保安監査並びに運輸安全マネジメント評価等を行っています。



～ある先輩の一日の仕事 その1～

徳島運輸支局 検査整備保安部門

坂さん（平成27年度採用）の場合【整備担当】

坂さんの主な仕事

自動車検査員や整備主任者の選任届の審査

自動車特定整備事業（認証工場）の各種申請の審査

自動車整備士技能検定に関する仕事

8：30 出勤	届いているメールの確認、急ぎの仕事はないか、など本日の業務内容の確認
9：00 出張	新たに認証工場を始める方の工場へ先輩と共に現地調査
10：30 帰庁	現地調査した内容や、事前に提出されていた書類をもとにこの工場が認証の資格を満たしているか審査
12：00 昼休み	職場で先輩とおしゃべりしながらお弁当
13：00 午後の仕事	整備主任者届、検査員選任届等の書類審査
14：00 窓口業務	継続検査申請窓口の業務が忙しくなってきたため書類審査業務の手伝い
15：00 午後の仕事	保安基準に関する相談を受けたので関係法令等を調べ、相談者が乗って来庁した実際の車両を元に説明
16：00 窓口業務	窓口終了時刻になったので片付けやまとめの作業
16：30 午後の仕事	来月の研修で使用する資料の確認、話す内容を検討
17：15 退庁	明日の予定を確認し、退庁



坂さんに10の質問

Q 1：なぜ運輸局を選んだのですか？

幼い頃から自動車、特にミニカーを集めることが好きで、将来は自動車関係の仕事に就きたいと、漠然と考えていました。それで進学時には自動車整備士の資格が取得できる大学を選びました。就職先を考える際、自動車整備士になるという選択肢もありましたが、自動車の分解整備作業をするよりも、自動車に関する法律や基準をもっと知りたい、また自動車に関する最先端の情報に触れていたいという思いがあり、運輸局を選びました。もちろん公務員という性質上、仕事の安定性、給与、国家公務員という肩書きのあこがれ（笑）なども考慮に入れました。

Q 2：職場の雰囲気はどうですか？

国家公務員というお堅い職種と思う方も多くいるかと思いますが、いい意味でそんなことはなく、アットホームでフランクな職場だと思います。職業柄、自動車整備事業を営む方と接する機会が多くありますが、最近の自動車整備業界の話や、自宅で育てている野菜の話などざっばらんに話して下さる方が多いので、いろんな方と接することができるいい職場だと思います。

Q 3 : ぶっちゃけ、先輩や上司は優しいですか？

(いまのところ(笑)) いい先輩方に恵まれ、日々勉強させていただいています。分からないことはまず自分で調べる、というのももちろん大切ですが、直接先輩に質問を投げかけると懇切丁寧に教えてくださり、また自分の気づかなかった点も気づかせてくださるので大変勉強になります。

Q 4 : 今、担当している仕事はどのようなものですか？

現在、主に自動車特定整備事業認証関係の仕事をしています。簡単に言うならば、自動車を分解や整備をする仕事を始める際、その仕事に必要な面積はあるか、工具はそろっているか、などを申請書類を元に審査、また実際に現地に出向いての調査などもあります。また、整備工場に行き、書類に不備は無いか、また不正改造を行ったりしていないか監査するという業務、車検のラインに立ち、実際に車検するという業務もあります。

Q 5 : 仕事は難しいですか？

はっきり言って難しいです。最新の法律や基準を知っているのはもちろんのこと、過去の基準も知っていないと厳しいです。また、電話や窓口で質問される機会が多くあり、正確かつ迅速な対応が求められます。また、人と接する機会が多く、ときには人前でマイクを持って話す機会もあるのでコミュニケーション能力も求められます。

Q 6 : 仕事にやりがいがありますか？

あります！自動車は日々進歩しており、それに伴い、法律なども日々変化していきます。それに対応していくために毎日勉強し、情報を取り入れ、対応していかなければなりません。四年間自動車整備の学校に通っていたので多少自信はあったのですが、はかなく崩れ去りました。なので、自動車に関して知識のある方も、全く触れたことが無いという方もやりがいを感じることができる職場だと思います。

Q 7 : 残業は多いですか？

基本的には定時すぎには帰宅しています。もちろん急ぎの仕事がある場合や、勤務時間内に仕事を成し遂げられなかった場合に多少残業することもあります。ただ、強制ではないので自らの裁量で決めることができます。



Q 8 : もしタイムマシーンがあったとして、就職前に戻れるとしたら、それでも四国運輸局を選びますか？で、その理由は？

もちろん四国運輸局を選びます！...と言いたいところですが分かりません(笑) 車が好きなので自動車メーカーも考えたことはあります。

Q 9 : 今の職場に満足している点と不満な点をそれぞれ教えてください。

満足している点：興味があればいくらでも勉強することができます。資料や情報は最新のものがそろっており、多くの先輩方が優しく教えてくださいます。

不満な点：給料は世間の皆様が思っているほど高くないような気がします....

Q10 : 四国運輸局を選ぼうとする人に何か一言お願いします。

公務員だから、という理由で選ぶのもよいですが、こういった仕事がしたい、という目標をもって選んだ方が仕事にやりがいを感じることができると思います。四国運輸局で共にがんばりましょう。

～ある先輩の一日の仕事 その2～

自動車技術安全部 整備・保安課

佐野係長（平成13年度採用）の場合

佐野係長の主な仕事

自動車特定整備事業（認証工場）の各種申請の審査

自動車整備士の資格者証交付申請関係事務

部内の庶務関係

8：30 出勤	メールの確認や申請書類のチェック
11：00 出張	整備士養成施設の先生方との会議のため出張
13：30 会場	最近の整備士に関する通達や関連する情報を説明、先生方と最近の状況等について意見交換
17：00 帰庁	上司に出張の状況を報告
17：30 退庁	明日の予定や段取りを確認し、退庁



佐野係長に10の質問

Q1：なぜ運輸局を選んだのですか？

四輪車や二輪車が好きで、どうせ仕事にするなら関連する仕事に就きたいと考えたことがきっかけで、行政機関でそれに関連する仕事は運輸局だったからです。

Q2：今は自動車技術安全部 整備・保安課に配属されていますが、その前はどのような仕事をしていたのですか？

それ以前は、高知運輸支局 輸送・監査部門で運輸企画専門官を拝命しておりました。

当時の仕事の内容としては、運送事業者さんを指導したり、レンタカーの事業者さんに対する許可申請を担当しておりました。

Q3：入省してから今まで、経験された仕事で一番印象に残っているものはなんですか？

バスの運送事業については、大きな事故もあり安全に対する取組を行政の側も行っており、その中でバスの出先の観光地などで運転手さんに話を伺う業務があるのですが、その際に新聞やテレビの記者の方から取材を受けるということがありました。社会の関心の高い仕事をしていると感じた瞬間で強く印象に残っています。

Q4：自動車技術安全部整備・保安課ではどのような仕事を担当しているのですか？

自動車技術安全部整備・保安課では、四国の自動車特定整備事業（認証）の各種申請に対するとりまとめや、整備士に係る申請等のとりまとめを行っています。

Q 5 : 自動車技術安全部の雰囲気はどうか？

いわゆる体育会系の厳しい上下関係ではなく、何事においても話しやすく、分からないことがあれば親身に教えてくれます。事務仕事メインで皆さん集中して仕事をしていますが、くだけた話をするときはわいわいと盛り上がっています。

Q 6 : 自動車技術安全部 整備保安課での一番印象に残っている仕事、逆に一番難しいと感じた仕事はなんですか？

四月に異動になったのですが、四月や五月の時期に整備士資格の申請が大量にあります。その多さにびっくりしました。

整備士の資格や、認証工場の許認可等については、今後のその人の人生に大きな関わりを持ちます。ですので、できるかぎり真剣に審査をしています。

Q 7 : 局勤務と支局勤務の違いや、その違いについて気を付けていることはなんですか？

局の業務については各支局の申請をとりまとめる、という立場であり自分が間違えると、間違ったままその申請が認可等されるということがあるため慎重に審査するよう心がけています。

Q 8 : 係長になって、仕事上で気に掛けていることはなんですか？

立場上、支局の担当者であるとか関係者に質問を受けることがあり、回答をする際は、なるべくその人が理解できるよう努力をしています。

Q 9 : もしタイムマシンがあったとして、就職前に戻れるとしたら、それでも四国運輸局を選びますか？で、その理由は？

同じことはしたくないので選びません。

Q10 : 四国運輸局を選ぼうとする人に何か一言お願いします。

他の職場はよく分かりませんが、運輸局の仕事は社会的な影響も大きく、やりがいのある仕事だと思います。自分次第でスキルアップもできます。

楽しいことだけでなく、いろいろなことがあると思いますが、頼りになる先輩方もたくさんいます。一緒に仕事をしてみませんか。

～ある先輩の一日の仕事 その3～

鉄道部 技術・防災課

河野係長(平成16年度採用)の場合

河野係長の主な仕事

鉄道・索道事業者の各種申請書類の審査

鉄道・索道事業者に関する各種調査、報告

鉄道・索道事業者への立入検査

(「索道」とはロープウェイやスキーリフトなどをいいます)

8 : 30 出勤	本省からは夜遅くにメールが来ることも多いので、朝一番にメールをチェックします。
9 : 00 会議	次の保安監査に向けて、監査メンバーで打ち合わせをします。
10 : 00 事務	申請書類の審査を行います。
13 : 00 出張	市内の踏切で、鉄道事業者が実施する踏切事故防止キャンペーンに出席します。
16 : 00 事務	報告書を作成します。
17 : 15 退庁	明日の予定を確認し、退庁します。



河野係長に10の質問

Q1 : なぜ運輸局を選んだのですか？

四国の交通全般に渡る、幅広い業務に魅力を感じました。

Q2 : 今は鉄道部技術・防災課に配属されていますが、その前はどのような仕事をしていましたか？

鉄道部に配属される前は、自動車技術安全部整備・保安課で主に自動車特定整備事業の認可や自動車整備士の資格申請に関する業務をしていました。また、その前は自動車技術総合機構に出向し、検査場で自動車の保安基準適合性の審査業務をしていました。

Q3 : 入省してから今まで、経験された仕事で一番印象に残っているものはなんですか？

自動車技術総合機構に出向していたころに、新人職員等の研修で指導教官を2年間担当させていただいたことです。研修資料を作ったり、長時間の講義で喋るために勉強するのは大変でしたが、苦労した分、その後の審査業務で自信を持って対応できるようになりました。

Q 4 : 鉄道部技術・防災課ではどのような仕事を担当しているのですか？

鉄道や索道（ロープウェイ、リフト）の施設を変更する場合は、内容によっては申請や届出が必要になるのですが、その申請書や届出書の審査を行っています。また、大規模な施設変更になると実際に現地へ行き、出来上がった施設が基準に適合しているか完成検査を実施します。

Q5 : 鉄道部の雰囲気はどうか？

おしゃべりな人の多い、明るい職場です。

少人数で一人一人に目が届くので、困っていると誰かが声をかけてくれます。

Q 6 : 鉄道部技術・防災課での一番印象に残っている仕事、逆に一番難しいと感じた仕事はなんですか？

一番印象に残っているのは、完成検査で出来上がったばかりの鉄道施設を検査することができたことです。一番難しかったのは、完成検査の前に提出された申請書や変更届の審査です。慣れない仕事だったので、しばらく夜遅くまで勉強しながら審査しました。

Q 7 : 残業や出張は多いですか？また、出張先で多いのはどんなところですか？

家が遠いのでなるべく早く帰るように心掛けてはいますが、申請が重なったりすると残業が続くこともあります。

出張は月に1～2回程、四国内の鉄道施設や索道施設に行き、保安監査や交通安全運動中の査察などを行います。

Q 8 : 局勤務と支局勤務の違いや、その違いについて気を付けていることはなんですか？

支局勤務時は窓口や電話で一般ユーザーや事業者の方と接する事が多かったのですが、局は窓口等を持っていない分、自分のペースで仕事ができます。ですが油断するとすぐに仕事がたまってしまうので、仕事をため込まないように気を付けています。

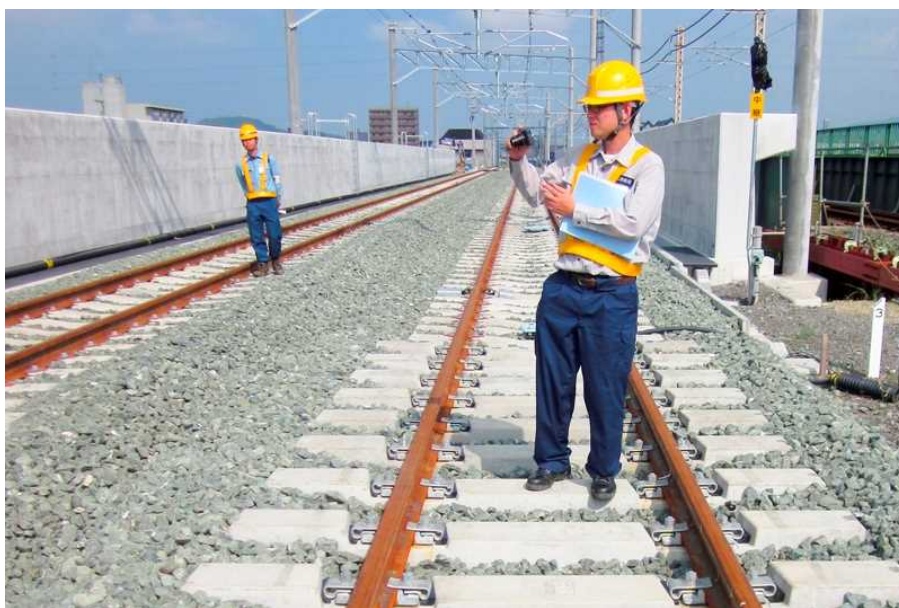
Q 9 : もしタイムマシーンがあったとして、就職前に戻れるとしたら、それでも四国運輸局を選びますか？で、その理由は？

四国運輸局に入ったおかげで結婚できましたので、「選びます。」としか言えません。

（編注：河野係長は職場恋愛で結婚されたので、家庭内における平和維持のため「選びません」とは言えない立場です）

Q10 : 四国運輸局を選ぼうとする人に何か一言お願いします。

四国運輸局の官庁訪問にぜひお越し下さい。まずは運輸局の現場を見ていただき、雰囲気を感じていただければと思います。



鉄道事業法に基づく完成検査を行う河野係長

～ある先輩の一日の仕事 その4～

自動車技術総合機構 交通安全環境研究所 自動車認証審査部
中西審査官（平成19年度採用）の場合

中西審査官の主な仕事

自動車型式指定などの審査

海外の自動車の基準など新しい基準を導入する際の調整

9 : 00	出張	審査するメーカーの試験場に行きます。
9 : 30	寸法・重量測定	試験車両の寸法と重量を測定
10 : 30	警音器の音圧試験	警音器の音量を測定
11 : 00	騒音試験	排気騒音、走行騒音を測定
12 : 00	昼休み	試験場近くの店で昼食
13 : 00	急制動試験	一定速度から急ブレーキをかけた際の停止距離を測定
14 : 00	最小半径回転試験	車が基準より小さく旋回できるか確認
15 : 00	灯火取付試験	ライトや反射器が基準に適合しているか確認
16 : 00	まとめ	試験成績書の作成や試験の講評
17 : 00	帰宅	職場に終了報告して帰宅



自動車メーカーが発表する前の新型の自動車の審査を行っていますので撮影は禁止されています。

中西審査官に10の質問

Q1 : なぜ運輸局を選んだのですか？

自動車に関して全く知識は無かったんですが、自動車に興味があるというのと前職と違うことをしたいという理由で選びました。

Q2 : 今は自動車技術総合機構 交通安全環境研究所 自動車認証審査部に出向されていますが、出向する前はどのような仕事をしていましたか？

出向前は四国運輸局鉄道部で鉄道やロープウェイなどの施設を新しく作ったり変更する際に必要な認可を担当していました。鉄道は自動車と法律や基準が全く違うほか、線路や駅など土木・建築の知識も必要になるため、知らないことばかりで覚えるのに苦労しましたが、未知の世界を知ることができてよい経験になりました。

Q3 : 自動車認証審査部ってどのような仕事をしているのですか？

国内の道路を走っているだいたいの自動車は自動車型式指定等の認可を受けてメーカーが生産しているのですが、自動車認証審査部はその認可を受けるための審査を行っています。

自動車にはライト、排ガス、シートベルトやブレーキなどの装置ごとに基準があり、その自動車に必要な全ての基準に適合しないと認可を受けることはできません。審査部はメーカーが作る車両が基準に適合していることを試験などで確認しています。

Q4：自動車認証審査部に出向して感じたことを教えてください。

認可のためにやっていることは大きく見れば鉄道部と変わらないのですが、審査にかける期間が鉄道では事業者とやりとりしながら数ヶ月あったのに対し、自動車では2,3週間で審査部の審査を終わらせるものも多く、競争の激しい業界とやりとりする上でスピード感を持った対応を求められていると感じました。

Q5：自動車認証審査部で中西さんが担当している仕事はどのようなものですか？

現在、審査部はたくさんあるメーカーを国産乗用車、国産大型車、輸入車の3つのグループに分けてそれぞれ担当する班を作っており、私は大型車の班でトラック、バスなどの申請を担当しています。

また、これから新しく適用される基準のうち、リヤバンパーなどを担当しており、スムーズに導入できるようにメーカーや国土交通省と基準の解釈やどのように試験を実施するかなどを事前に調整しています。

Q6：自動車認証審査部で一番印象に残っている仕事、逆に自動車認証審査部で一番難しいと感じた仕事はなんですか？

ある装置の規制強化が始まる前にメーカーと調整を行った際のことで、メーカーとしては規制強化に対応して装置を大きくすると作業性が悪くなるため困るので、一部の車両に規制強化しないよう求められたのですが、多くの車両を除外すると規制強化の意味が無くなってしまったため、どこで線引きするべきか悩み調整に苦労した、というのが印象に残るとともに難しかった仕事です。

Q7：残業や出張は多いですか？また、出張先で多いのはどんなところですか？

最近いろいろイベントが重なり業務が増えているので残業は月30時間程度しています。

出張は多いときと少ないときがありますが、最近では月の3分の1くらい出張しています。場所はメーカーの集まる関東、東海地方が多いです。

出張だと泊まりや早く帰れることもあるので、そんな時に日々の疲れを発散します！

Q8：自動車認証審査部の仕事でやりがいを感じる時はどんなときですか？

自分が審査した車両が街を走っているのを見たときですね。

特に試験が多かった車両や審査で苦労した車両を見ると審査したときのことを思い出し、認可になったんだと思うと感慨深いことがあります。



Q9：もしタイムマシーンがあったとして、就職前に戻れるとしたら、それでも四国運輸局を選びますか？で、その理由は？

四国運輸局も就職先の選択肢のひとつにはあると思いますが、年を重ねて自分の知らない世界がたくさんあることを知ったので、過去に戻れるならこれまで関わったことのない仕事についてみたいです。

Q10：四国運輸局を選ぼうとする人に何か一言お願いします。

転職でいくつかの職場を経験してきましたが、どの職場もチームワークを大切に助け合って仕事をしています。最初は分からないことばかりで大変だと思いますが、積極的に質問したりコミュニケーションをとって職場に溶け込めば仕事が楽しくなると思います。



よくある質問

Q1：自動車整備士の資格を持っていないのですが、仕事に差し支えありますか？

自動車運転免許証を持っている程度の知識で大丈夫です。採用後、自動車技術総合機構の中央実習センターで3級自動車整備士程度の研修を1か月間程度受講していただき、知識と技術を高めます。また、自動車検査場でのOJT研修も充実していますので、資格がなくても心配ありません。

Q2：転勤は何年ごとですか？また、範囲は？

転勤は「何年ごとに」とは決まっておらず、人事の状況や希望によって異なりますが、1ポストで2～3年程度が多く、転勤する範囲は特に希望しない限り四国内となります。

Q3：国土交通本省や自動車技術総合機構交通安全環境研究所などに出向できますか？

希望により国土交通省（本省）や自動車技術総合機構交通安全環境研究所などへ出向することも可能です。

Q4：鉄道が好きなので鉄道部に配属されたいのですが・・・

鉄道部の技術系職員は6名ですので、希望すれば必ず配属されるとは限りませんが、意向が反映され二度三度と配属される者もいます。

Q5：運輸支局の検査整備保安部門に配属された場合、まずどのような仕事をするようになるのでしょうか？

新規採用者は「この業務！」と決まっていませんが、採用当初は継続検査の窓口業務や各種届出の審査業務を担当することが多いようです。

Q6：四国運輸局には船舶の業務をしている技官もいますが、船舶に関する仕事もできるのでしょうか？

自動車技術系職員（自動車技官）は自動車と鉄道の業務に従事していますが、船舶に関する仕事はできません。

Q7：残業や休日出勤は多いですか？

配属される部署にもより異なりますので一概には言えませんが、18時過ぎには帰宅している職員が多いようです。また、休日出勤もイベントや大きな事故が発生した時には出勤することもあります。年間を通してほとんどありません。

Q8：四国運輸局には何人くらいの職員が働いていますか？

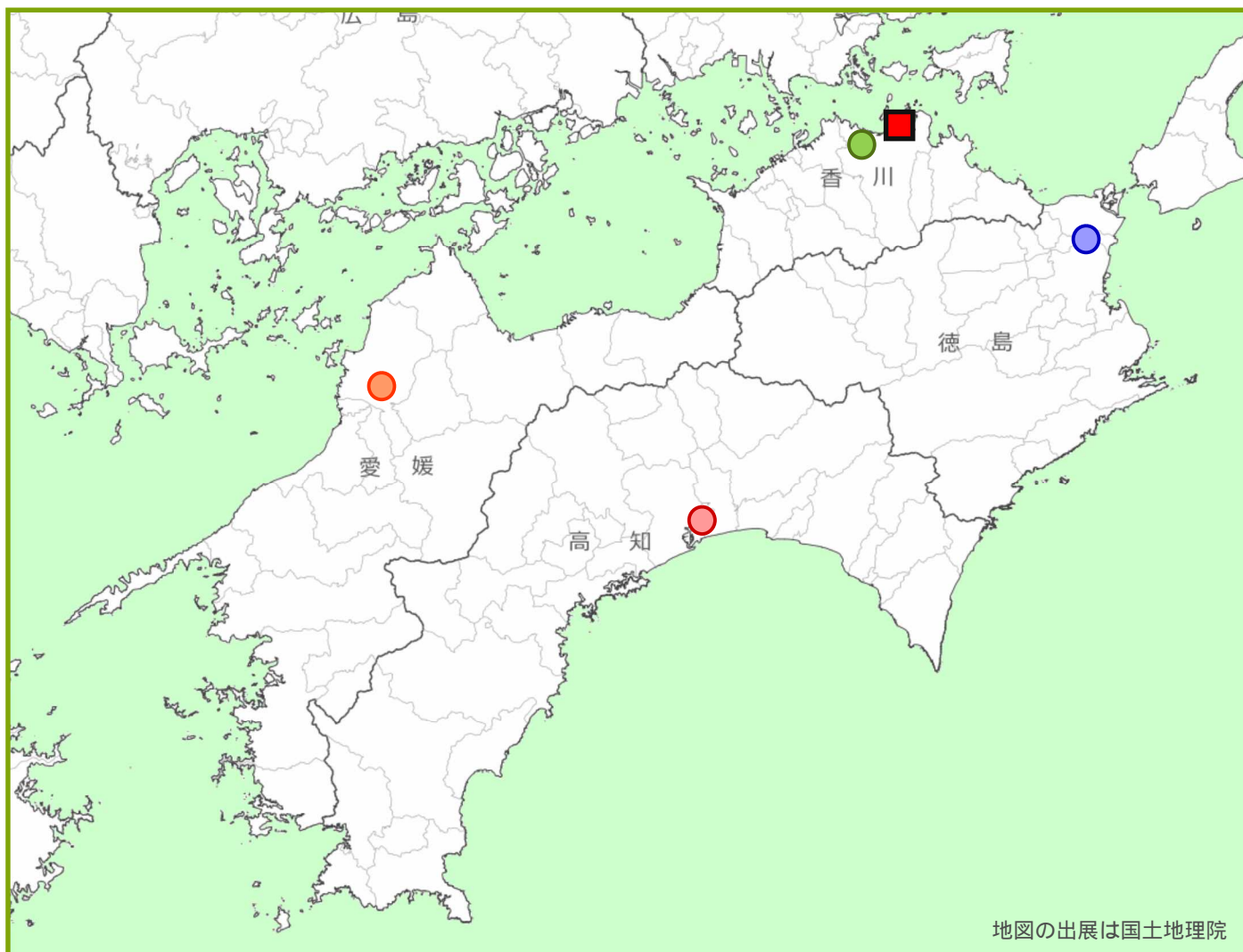
出向している者も含めて300人程度の職員がいます。そのうち、自動車技術系職員は約70名です。

Q9：毎年、何人くらい採用されていますか？

運輸局全体としては10名程度、そのうち自動車技術系職員は2名程度採用されています。

ちなみに直近の10年間で採用された自動車技術系職員は16名で、内訳は機械8名、電気・電子・情報5名、土木3名となっております。平成31年度採用からは物理・科学の受験区分も対象としています。

自動車技術系職員が配置される四国運輸局・運輸支局の所在地



■ 四国運輸局（自動車技術安全部、鉄道部、自動車交通部）

住所：香川県高松市サンポート3番33号
高松サンポート合同庁舎 南館

● 徳島運輸支局（応神町庁舎）

（自動車技術総合機構四国検査部徳島事務所）
住所：徳島県徳島市応神町応神産業団地1番地1

● 香川運輸支局

（自動車技術総合機構四国検査部）
住所：香川県高松市鬼無町字佐藤20-1

● 愛媛運輸支局

（自動車技術総合機構四国検査部愛媛事務所）
住所：愛媛県松山市森松町1070番地

● 高知運輸支局（大津庁舎）

（自動車技術総合機構四国検査部高知事務所）
住所：高知市大津乙1879番地1

自動車技術系職員採用 についてのお問い合わせ先

面接や官庁訪問などについてお気軽にお問い合わせください。

四国運輸局 自動車技術安全部 技術課

〒760-0019
香川県高松市サンポート3番33号
高松サンポート合同庁舎 南館
087-802-6785

四国運輸局ホームページ
職員採用情報

